



# 谷藤利子の市政報告

ホームページURL <http://www.jcp-ichikawa.com/tanifuji/index.html>

日本共産党市川市議団  
谷藤利子個人版

2011年10月8日 N059  
連絡先:福栄2-1-1-713  
電話:398-5948

## 9月市議会が終了

### 一般質問 その1



# 建築物の高さ規制は住民合意で

### 市が検討している高さ規制

- 【用途地域により制限】
- ・北部地域は15mと20m
- ・南部地域は20mと31m
- 【2つの特例】
- ・既存不適格であっても一回は同等の高さで建て替えられる。
- ・街区単位で良好な市街地形成に寄与する場合は縛られない。

市川市は、市民のプライバシーや景観問題への意識が高まったことを理由に、建築物の高さ制限を設定することを検討しています。

良好な街並みや住環境を形成することはいいことですが、建築物の高さ規

制は、マンション建てかえの際に、住民合意の難しさにつながりかねない問題を含んでいます。

**マンション建てかえにどう影響するのか**

私(谷藤市議)のところに、あるマ

そこで私は、「市が検討している高さ規制はマンション建てかえにどう影響するのか、その対策はどうするのか」と、質問しました。

**既存建築物130棟が不適格となる**

市は、「用途地域等を踏まえ、北部地域は15メートルと20メートル、南部

地域では20メートルと31メートルを高さ限度とした。既存の建築物でこの制限をかけると約130棟が不適格となる」と答弁しました。

**建てかえへの影響を考慮し、二つの特例**

さらに市は、「マンション建てかえへの影響などを考慮して、一回の建てかえに限り、同じ高さまでは建てられる。また、街区単位で良好な市街地形成に寄与する場合は高さ規制に縛られない、という特例を検討している」と説明。

**高さ規制の決定は住民合意をふまえて**

そこで、私は、「分譲マンションの建てかえは、住民の合意形成という、個人住宅とは異質で難しい問題をかかえている。決定を急ぐことなく、マンション管理組合や住民との話し合いをしっかりとすすめて、慎重に対応していただきたいがどうか」と質問。

これに対して市は、「できるだけ早くと考えていたが、色々なご意見を頂いており、これからも頂くことを踏まえ、全体を見極めて検討していきたい」と答弁しました。

### 一般質問 その2

## 保育園の第3子保育料無料化存続を

市川市は昨年末、市独自の第3子以降の保育料無料化を廃止すると、いきなり保護者に通知。保護者は突然の一方的な通知に納得できず、制度存続を求めて、署名活動を行い、今年2月議会で全会一致で請願が採択されました。

### 廃止の見直し案提示

これを受けて市川市は、9月議会に、市独自の第3子保育料無料化の見直し案【18歳未満の扶養が3人以上、所得税年間734,000円未満、保育料滞納がない条件を設け、3年間の激変緩和を経て、3年目以降は0～2歳児で年間

40万円、3歳以上で年間30万円の負担軽減をする】を保護者と議員に配布しました。

### 現行制度存続が筋ではないか

私(谷藤)は、「保護者アンケートでは6割が現行制度存続を望み、2月議会は全会一致だった。見直し案に保護者の理解は得られるか。現行制度存続は検討しなかったのか」と質問。

これに対し市は、「理解が得られるよう、保護者との意見交換はこれからも持っていきたい」と答弁しました。



## 一般質問 その3

# 最悪の事態を想定した津波対策を



東日本大震災による大津波で町が破壊された南相馬市

市川市の地域防災計画では、「東京湾内に大津波が発生する危険は万が一の場合を除いてはない」とありま

す。

**千葉県沖に大地震と大津波がいつ来てもおかしくない。東京湾も例外ではない**

しかし、千葉県の外房沖には、東日本大震災で大きく動いた太平洋プレートが続きて、動かずにひずみ状態になっているところがあり、大地震と大津波がいつ来てもおかしくない状態だと言われています。

もし、房総沖で東日本大震災のような大津波が来たら、「回り込み」で東京湾に津波が入り込んで一番奥の行徳の護岸にぶつかって引きもどし、後から入ってきた津波とぶつかって「共振

## 一般質問 その4

### 塩浜橋の浦安寄り歩道の安全対策

ハイタウン塩浜から塩浜橋の浦安寄り歩道を抜けたあと、歩道が連動していないために、車や自転車と出会い頭になり危険です。団地住民の皆さまから「安全対策はとれないのか」との声取り上げて、質問しました。



岡田県議と現地調査

### 浦安側から来る車を塩浜橋手前で左折させる方法を検討

これに対し市は、「塩浜橋から土手に向けて歩道橋を設置する検討をしていたが構造的に無理があり絶ち切れになった。そこで、これに代わる歩行者の安全対策として、浦安側から来る車を塩浜橋より手前で左折させ、そこから橋までの間を一方通行にする方向で警察や近隣住民と協議したい」と答弁しました。

現象」が起こり、1、5倍の高さになることがあると言われていています。

**避難場所の確保を急ぎ、住民に周知徹底を**

そこで私は、行徳地域等、高台がない地域の最悪の津波被害を想定し、避難場所、避難方法など、住民に周知徹底するよう質問しました。

これに対し市は、「国、県も津波対策の再検討をしており、市も見直しをする。多くの避難場所を確保するために、高い建物を持つ商業施設等と協定を結んで指定し、市民への周知を徹底する」と答弁しました。

## 公立幼稚園の廃園異議あり

### 公立幼稚園8園中、基幹3園残し、順次廃園の方向

9月議会で市川市は、公立稲荷木幼稚園が定員250名に対し73名で定員割れしているため、平成25年度末をもって廃止する条例改正案を提出しました。さらに市は、今後は公立8園のうち基幹園3園(百合台、大洲、南行徳)を残し、定員割れの多いところから順次廃園する方向も提案しました。

**保護者、存続求め、署名と要望書で声上げる**

これに対し、保護者から公立存続を求める署名25,000筆が議会に提出され、8園全部のPTA会長から存続を求める要望が市長に出されました。

### 公立幼稚園の役割は大きいのではないかと質疑

これに対し私は、「市川市の公立幼稚園は特別支援教育等、どの子にも平等に生きる力の基礎を育む質の高い保育を行ってきた。バス等で遠くから通わないですむことや、幼小の連携ができるなど、公立だからこそ果たしてきた役割は大きいのではないかと。非公開で審議し、結論をいきなり保護者や職員、議会に提案するのは大変問題ではないかと」と、議案質疑をしました。

市は、今後は慎重に検討するとしながらも、稲荷木幼稚園廃園を再検討する姿勢はありませんでした。

**反対11で可決される**

結論は、日本共産党5名、民主・連合2名、社民・市民ネット3名、自民党1名、計11名の反対少数、賛成多数で市案が可決されました。

## 利子の主な活動日誌



8月27日 原発からの撤退署名宣伝



9月3日 第3子保育料無料化を求める保護者と懇談



9月4日 福栄4丁目下水処理場上部公園で放射線の測定